

公明党会派行政視察報告書 (颯新クラブと合同視察)

平成28年11月22日(火)

報告者 保坂 芳子

- 1、研修日 平成28年11月15日(火)～11月16日(水)
- 2、場所 国会議事堂
荒川区役所
埼玉県小鹿野町役場
- 3、参加議員 保坂芳子

金丸幸司
- 4、内容 国会議事堂 衆議院の安全保障委員会の傍聴
荒川区役所 あらかわシステムと荒川区の取組の現状
小鹿野町役場 健康長寿小鹿野モデルについて

公明党 11月 ①

国会議事堂

15日午前中

衆議院の安全保障委員会の傍聴をさせていただいた。ちょうど自衛隊の駆けつけ警護が議会で通ったあと、野党議員が稲田防衛大臣に質問しているところだった。緊張感で張り詰めた空気だった。やり取りを肌で感じた。駆けつけ警護のことも国のことではあるが、本質を知らなければいけないと感じた。帰ってから勉強しよう。

説明して下さった職員 1、大森重紀 荒川区総務企画部 特命担当課長
2、伊藤節子 子育て支援部 子育て支援課長 総括
(議会事務局長 濱島明光 議長 並木一元 両氏から挨拶をいただいた。)

内容

荒川区では、区政のドメインを「区政は区民を幸せにするシステムである」と定めています。区政の究極の目的は、区民の皆様の「幸せ」の実現です。この一言が荒川区のすべてだと思います。職員もすべてこの考えから自分の役割を考えていくということです。幸せの定義や感じ方はそれぞれですが、少なくとも不幸を減らす取組が必要だと言っていました。素晴らしいと思いました。子供の貧困問題検討委員会の設置・荒川区自治総合研究所設立(区のシンクタンクの役割をしています)

子供の貧困・社会排除問題研究所の設立。と意欲的に取り組んでいます。誇りをもって仕事に取り組んでいると思いました。

スクールソーシャルワーカーの配置・心理専門相談員13名配置・虐待対応専門相談員配置虐待対策コーディネーター配置・全職員がゲートキーパーの研修を受ける。全小中学校長に100万の予算で学力向上の取り組みをさせる。タブレットを小中学生1人1台体制。と、福祉分野の専門員や子供関係に惜しみなく投資しています。目に見えませんが、必ず将来この地にその結果が出ることでしょう。

17万だった人口が現在22万人と増加している。ということも結果です。要は人口減少の対策はいろいろあるが、魅力ある街をどこにターゲットを絞り団結して取り組むかだと思います。夢と希望あふれる街を作ることはできる。と確信しました。成功しているいい例です。でも甲斐市も負けてないと思います。

荒川区は幸せリーグ(全国98自治体参加している)に加入しているそうです。大森課長が全国連携担当課長も兼任していました。甲斐市も加入してはどうでしょうか。

また、荒川区議会は通年議会の体制で年間334日出勤しているそうです。頑張っていますね。大変参考になりました。

埼玉県小鹿野町役場 16日 10時半～12時半

- 説明して下さった職員
- 1、保健福祉センター所長兼保健課長
黒澤平太郎
 - 2、須藤 主席保健師
 - 3、町田 主任保健師

平成26年度の後期高齢者医療費は小鹿野町が埼玉県で一番安いとのこと。小鹿野町709919円、埼玉県の平均は839959円。その差130040円。13万円の差は大きいです。

高齢者健康づくり教室。近くまでバスで迎えに行き、月、木。健康チェック、体操をする。

レクリエーションか音楽か料理に分かれて研修。町内食堂で楽しく食事をするそうです。

ステップ体操教室。大腰筋を鍛える体操で30代からでき夜もあるそうです。

元気はつらつ教室。要支援の人が要介護状態にならず自立した生活が遅れることが目的で火・水実施。こじか筋力教室 週1回で特別な道具を使い筋力を保つ訓練をするそうです。

こうした努力が実り、65歳以上4019人の内、要介護認定者669人16、6% 要支援認定者252人6、3% 結果なんと8割近くが元気高齢者。見習いたいですね。

もう一つ驚いたことに、小鹿野町では平成14年には地域包括システムが本格化していたそうです。町内に病院があったのでスムーズにいったこともあると思います。現在病院内に保健福祉センターがあり、病院に入院した時点で、入院から退院後の生活まで見据えることができます。その結果安心して入院でき退院後の生活が送れるよう、皆で最もよいとされる支援ができるようになっています。

切れ目のない支援ができ、専門家のアドバイスがすぐ受けられるという、理想的な保健・医療・福祉体制ができています。健康づくりと地域包括ケアシステム2本立てのまさにモデル地域なのです。そんなところもあるんですね。

そうは言ってもすぐまねはできません。でも努力すれば医療費は抑えられます。まずできるところからの取り組みの提言が大事だと思いました。

今回2か所とも大変参考になりました。企画していただいた颯新の皆様ありがとうございました。

